

農業技術 プリズム

ブロッコリー栽培では花蕾（からい）のみを収穫し、茎や葉などの残さは圃場（ほじょう）内に残り、そのまま土壌中にすき込まれることがほとんどです。この収穫後の残さは多くの肥料分を含んでおり、残さすき込み後に作付けする作物ではこの肥料分を考慮する必要があります。そこで、秋作ブロッコリーの後作として春作バレイショを輪作した場合、残さすき込みによる春作バレイショでの肥料効果について検討しました。

試験は、まず残さをフレールモアで細断し、ロータリーで耕うんすることで土壌中にすき込み、すき込み前とすき込み後、すき込み後の土壌の化学性を比較しました。

ブロ残さ すき込みの効果 無機態窒素量が増加 バレイショ3割減肥

その結果、残さすき込み前と比べ、すき込み1カ月後は無機態窒素量が増加しました。

また、残さすき込み1カ月後に春作バレイショを定植した結果、慣行の施肥量より3割減肥しても収量は同等となり、減肥栽培が可能なこと（長崎県農林技術開発センター畑作営農研究部門中山間営農研究室主任研究員 渡邊 亘）

ブロッコリー茎葉残さのすき込み有無と施肥量の違いによる後作バレイショでの生育・収量への影響

処理区 (施肥量)	残さ 有無	無機態窒素 (mg/乾土100g)		上芋 重 (kg/a)	上芋 個数 (個/株)
		残さ すき込み前	残さ すき込み後		
3割減肥+ブロ残さ (N:P:K=9.8:8.4:8.4)	有	2.5	5.3	364	3.8
慣行施肥 (N:P:K=14:12:12)	無	4.0	3.4	337	3.5

※1 耕種概要：残さすき込み日：2021年12月20日 バレイショ定植日：22年1月27日 収穫日：5月12日 品種：「アイマサリ」
※2 無機態窒素は残さすき込み直前の12月20日およびバレイショ定植前の1月21日に採土し、分析した